

獨協医大

心臓血管外科ニュース



No. 6

2009年 獨協医科大学 心臓・血管外科 Annual Report

心臓・血管外科 福田 宏嗣

時期外れですが謹んで、新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は格別のお引立てを賜わり、厚くお礼申し上げます。

獨協医科大学 心臓・血管外科は2008年6月から新体制になり2009年は実質1年目でしたが、多くの先生方からのご紹介などで予想以上の患者様の治療に係らせていただきました。その実績をはなはだ簡単ではありますが纏めました。

膜症77例、胸部大動脈瘤24例、腹部大動脈瘤63例などです。残念ながら救命できなかった症例が10例あります。待機例4例、緊急例6例で、多くは術前から多くのリスク因子を持った症例でした。しかし重症例でも一人でも多くの患者様を救命できるようICU専属医、循環器内科医とmortality/morbidityカンファレンスを開き、問題点など話し合い今後に繋げるようにしています。

・2009年手術統計

全手術症例数	335例
Major Cardiovascular Surgery	211例
(開心術+OPCAB+胸部大動脈瘤の 経皮的ステントグラフト内挿術(TEVEAR))	
先天性心疾患	13例
虚血性心疾患	97例
心臓弁膜症	77例
メイズ手術	24例
胸部大動脈瘤	24例
経皮的ステントグラフト	5例
その他の開心術	6例
腹部大動脈瘤	63例
経皮的ステントグラフト	34例
末梢動脈疾患	35例
その他	20例

・2010年の取り組み

当たり前ですが一人ひとりの患者様に最善を尽くすことです。その中で引き続き、大動脈瘤に対する経皮的ステントグラフト内挿術などの低侵襲手術や弁形成術などのQOLを重視した手術を目指して行きたいと考えています。

また体制として私たち、心臓血管外科は胸部外科の一部門でしたが4月からは心臓・血管外科と呼吸器外科に分離独立する予定です。講座(診療科)名も「心臓血管外科」ではなく「心臓・血管外科」としこれまでどちらかという心臓・大血管疾患を中心に扱っていましたが、血管外科領域も守備範囲を広げて扱ってゆく予定です。昨年来、多くの患者さまをご紹介いただき大変感謝いたしておりますが、手術枠の関係で多くの患者さまに長期間の手術待機期間を要しご迷惑をおかけしています。直ちに全面解決する方法はありませんが、分院である日光医療センターでの新たな展開などを模索してまいりたいと考えています。

手術の詳細は上記の通りで、手術総数335例、そのうち211例のMajor cardiovascular surgeryをさせていただきました。主な疾患では虚血性心疾患97例、弁

今年1月20日からは当院を基地とするドクターヘリの運航が始まり、当科でも太田原から急性解離の症例を搬送し手遅れにならずに手術することができま

した。これからも院内各部署と連携し、皆さまに信頼される心臓・血管外科を目指してまいりたいと思っておりますので今年も引き続きご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



超高齢者の腹部大動脈瘤手術 (獨協医科大学 心臓・血管外科 井上有方)

近年、高齢化社会の急速な進行と医療技術の進歩から超高齢者に対しても手術が行われるようになってきています。腹部大動脈瘤の治療に関しても、ステントグラフト治療という新たな選択肢が増え当科でも積極的にこれを取り入れています。最近、超高齢者の腹部大動脈瘤治療を3例経験したので報告します。

症例1：90歳（大正8年4月29日生）男性

【診断】 腹部大動脈瘤切迫破裂（瘤径8cm）、閉塞性肺疾患（在宅酸素導入）

【現病歴】 慢性閉塞性肺疾患にて在宅酸素療法導入となっており近医でフォローされている患者。2009

年11月6日突然の腹痛を主訴に近医受診しエコー上腹部大動脈瘤を認め、上記診断となり、当院緊急搬送。CT上腎動脈下に径8cmの腹部大動脈瘤を認めた。降圧コントロールにて腹痛は軽減したため、11月10日待機的に手術をした。

【手術】 ステントグラフト内挿術(EVAR),局所麻酔,手術時間；1時間44分

COPD,HOT導入されていることを考え手術は局所麻酔で行い、ステントグラフト内挿術を施行した。

【術後経過】 術後1日目に経口摂取開始。術後8日で自立歩行可能となり軽快退院となった。

症例 1



術前 CT



術後 CT

症例2：90歳（大正7年10月22日）,男性

【診断】 腹部大動脈瘤（瘤径6.5cm）、高血圧

【現病歴】 高血圧で近医フォローされている。2008年1月から腹部大動脈瘤を指摘されており、この時瘤径5cmだったが2009年4月のCTで6.5cmと拡大を認めたため、手術目的に当科紹介となった。ADLは

自立。

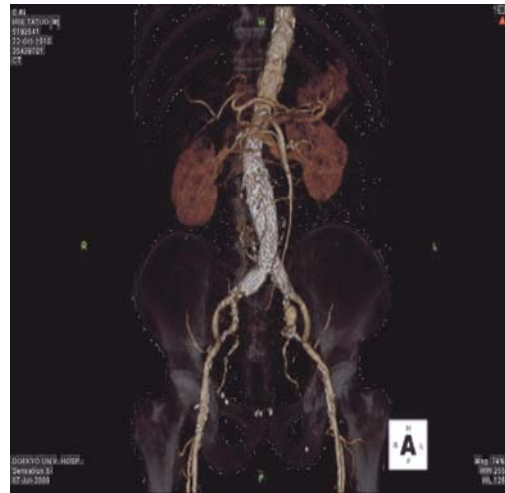
【手術】 ステントグラフト内挿術(EVAR),全身麻酔,手術時間；3時間4分

【術後経過】 術後1日目より病棟内歩行・経口摂取開始し術後5日目に軽快退院となった。

症例 2



術前 CT



術後 CT

症例 3 : 91歳(大正7年8月1日)女性

【診断】 両側総腸骨動脈瘤(右3.5cm,左3cm),高血圧

【現病歴】 高血圧にて近医でフォローされており、2005年から総腸骨動脈瘤を指摘されていた。2009年3月のCTで瘤の拡大を認め、当科紹介となった。ADLは自立。

【手術】 Y字型人工血管置換術,全身麻酔,手術時間;3時間1分

瘤の形態からステントグラフト治療は困難なため、開腹手術を選択した。

【術後経過】 術後4日目より経口摂取開始。術後5日目より歩行訓練開始。術後9日目に軽快退院となった。

症例 3



術後 CT

腹部大動脈瘤の治療に関しては現在①ステントグラフト内挿術(EVAR) ②人工血管置換術の2種類の方法があり、EVARは従来までの開腹手術に比べ圧倒的に低侵襲であり、高齢者に適した術式です。特に高齢者にとって術後回復が早いのがメリットです。当科では動脈瘤がEVARに適した形態であればEVARを第一選択としています。

獨協医科大学病院 胸部外科(心臓血管外科)からのお知らせ

1. 各種問い合わせおよび相談

連携医の先生方からの循環器疾患に関するお問い合わせ、患者さんの診察依頼、入院依頼などは下記にご連絡下さい。夜間、休日は胸部外科 当直医または宅直医が担当させていただきます。

Tel : 0282-86-1111 (内線 2640)

Fax : 0282-86-6390

E-mail : cvs@dokkyomed.ac.jp

2. 心臓血管外科 外来担当表

	月	火	水	木	金	土
午前	井上	手術	福田 吉龍 栞田	手術	手術	柴崎
午後	井上	手術	福田 吉龍 栞田	手術	手術	

緊急の場合は上記以外でも診察させていただきます。

胸部外科外来へ直接電話してお問い合わせ下さい。 胸部外科外来 : 0282-87-2206

今後とも先生方との連絡を密にしながら診療に取り組む所存ですのでよろしくお願いいたします。